

積極的な設備投資と独自の生産管理システムにより 付加価値と生産性の向上を実現

同社は1950年に家具製造販売業として創業した。この当時からの卓越した技術を生かして、鉄道車両部品製造に転換を図る。主な事業は新幹線車両の乗降口に組み込まれる「出入台ユニット」や「デッキと客室を仕切る妻パネル」などの製造である。材料の切断から曲げ、溶接、組立て、取り付け・艤装までを一貫して行うことができる数少ない事業者であり、「出入台ユニット」は約6割の国内トップシェアである。2009年グッドカンパニー大賞(中小企業研究センター主催)で、優秀企業賞を受賞した。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 山口県下松市葉山2丁目904番15 | ● 設立 | 1965年 |
| ● 電話/FAX | 0833-46-3535/0833-46-3838 | ● 資本金 | 1,500万円 |
| ● URL | http://www.hiromoku-giken.co.jp/ | ● 従業員数 | 76人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 弘中 善昭 | | |



積極的な設備投資と独自の生産管理システムの構築

鉄道車両製造業界は、海外案件の積極的な受注や国内新幹線の大量更新など多くの需要が続くと見込まれる。こうした需要に対して、限られた人員、体制で対応するためには、生産性の向上が不可欠である。そのため、生産設備・機械に関しては最新型への更新を定期的に行っている。また、同社の生産活動の心臓部である独自に構築した生産管理システムも、最新のITツールを加えながら、継続的にバージョンアップしている。こうしたハード、ソフト両面の積極的な設備投資が付加価値の向上に繋がっている。



最新設備・機械を有する同社の第1工場

IT、IoTの積極的な活用による生産業務の効率化

車両内装部品のユニット化・モジュール化を進めた結果、工場内を流れる部材・部品の点数は数万点に及んでいる。これらの存在場所、生産の進捗状況をタイムリーに管理するために、受発注情報、製作図面情報、生産進捗情報等を連携させた独自の生産管理システムを構築している。生産管理システムを構築して20年以上、継続的にアップデートを重ね、現在ではほぼ完成の域に達している。日常の生産管理、製造原価管理、売上予測と事業活動に不可欠なものとなっており、経営品質の向上に大きく貢献している。



生産管理システムを運用するOAルーム

福利厚生の充実と高齢者の積極的な活用

毎年、福利厚生の一環として、家族同伴で新幹線を利用する社員旅行を実施している。これは、自分たちが製造した内装部品が全国を走る車両にどのように取り付けられているかを確認する社員教育の一環でもあり、新幹線車両製造に携わる事業者ならではの取り組みである。また、20年以上前から定年退職後の高齢者の継続雇用も積極的に行っている。現在もアルバイトを含めて10名の70歳以上の高齢者がシルバー人材として熟練した技術力を発揮して製造現場で活躍している。



株式会社弘木技研の外観